

クマについて気をつけてほしいこと

クマに遭遇する事故を未然に防ぐため、以下のことに注意しましょう。

登山・ハイキングをされる団体に、無線・クマ鈴をお貸ししています。
出かける前に、自然の家事務室までお申し出ください。

◆クマに出会わないようにすることが一番です!

- * 活動前に、事務室で野外活動フィールドの情報を入手しましょう。
- * 森に入るときは、クマ鈴で音を出す、時々声を出すなどして歩きましょう。人間の存在を知らせることでクマのほう avoids してくれます。
- * 一人で行動せず、必ずグループで行動しましょう。

◆それでも出会ってしまったら? 慌てず、騒がず。

- * 遠くに熊を見つけたら、クマの移動する方向を見定めながら、落ち着いて静かにその場を立ち去りましょう。大声を出したり、急に背中を見せて走ったりして逃げてはいけません。
- * クマを刺激するのはやめましょう。

◆近づいてきたら・・・まだ慌てない。

- * 遠くのクマが近づいてきたら、穏やかに声を出し、大きくゆっくり手を振り人がいることを教え、クマの目を見ながら、静かにその場を立ち去りましょう。
- * クマが立ち上がっても慌てない。周囲を確認するための行動です。
- * 突発的な遭遇の際は、ゆっくり手を振り穏やかに声を出し、木などの障害物に隠れる。

- ◎ 野外で弁当の残飯などのごみ捨ては厳禁です!人の食物に味をしめたクマは、人を回避しなくなり、しつこく人や家の近くに寄ってくるようになります!!
- ◎ クマを発見した場合は、自身の安全を確保し、自然の家まで連絡してください。

ダニ・ハチ注意!

◆スズメバチ

スズメバチの活動時期は春から秋(5~11月)と言われています。特にオオスズメバチ・キイロスズメバチは攻撃性が強く、刺された部分は激痛をともなつてはれ上がり、場合によっては呼吸困難になったり、ショック死したりする場合があります。

☆ 刺されないようにするには・・・

- * 長袖・長ズボンで活動しましょう。ハチは黒いものに反応しますので、白系や明るい色の服装を身につけ、帽子をかぶりましょう。香水やヘアスプレーなどもハチを刺激するのでできるだけ付けないようにします。
- * ハチが飛び回っていたら近くに巣がある可能性があります。ハチは下が見えにくいので、身を低くしてその場から静かに立ち去りましょう。手やタオルを振り回して追い払うのはやめましょう。ハチは横に動くものに敏感なので危険です。

☆ 刺されてしまったら・・・

- * きれいな水で患部を洗い流し、毒液をポイズンリムーバー(事務室に備えています)で吸い出します。
- * 個人差がありますが、おう吐、頭痛、めまいなどのアナフィラキシーショックと言われるアレルギー性ショック症状があらわれ、まれに死にいたることもあり、速やかに病院の診察を受けるようにしてください。

◆ダニ(マダニ)

大きさ2~3ミリ程度でササやぶなどに生息しています。近くを通る人間などに取りつき、皮膚に食い込み血を吸います。最初はチクリとするくらいで気づきにくいですが、3~4日間以上も吸い続け大きなイボのように膨れます。

血の栄養だけを吸い取り、不要物を人間の体内に戻しますが、この時ウィルス・細菌なども体内に送り込まれることがあるので危険です。

☆ 刺されないようにするには・・・

- * 長袖・長ズボンで活動しましょう。首回りなどもタオルで隠すなどすると効果的です。活動後は、服についていないか、グループでお互いに確認しましょう。
- * 活動後の服は着替え、可能であれば入浴・シャワーで体の汚れも落としましょう。

☆ 刺されてしまったら・・・

- * 病院(皮膚科)で処置してください。
- * 自分で引き抜くのはやめましょう。ダニの口が皮膚に食い込んでいるので、体がちぎれて頭だけが残ってしまいます。

◎ ハチ・ダニに刺された!ハチが飛び回っていた!・・・などの情報は自然の家事務室まで!

事務室 0770-54-3100